|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **会場名** | | **サブリーダー**  **役職　　　　　　　　　　氏名** | |
| 大阪国際会議場 |  | 次年度国際・社会奉仕委員会　委員長 | 庄田　佳保里  （池田くれは） |
| 10階 | 1009号室 | ロータリー財団補助金小委員会　委員長 | 木本　辰也　（交野） |
| **リーダー　役職・氏名** | |  |  |
| パストガバナー | 片山　勉 |  |  |
|  |  |  |  |
| **議事録作成者** | 村川　幸作（大阪堂島） | | |

|  |
| --- |
| 開会：（15時30分）　司会　次年度国際・社会奉仕委員会副委員長　　浅香　光雄（高槻東） |
| 発表者：パストガバナー　　片山　勉 |
| 【記録内容】開会挨拶  ・地区研修・協議会の趣旨を説明。  ・地区の委員会は、クラブを支援する事を第1の目標として活動をしております。分からない時は相談をして奉仕活動を進めてください。  ・地区委員会の説明を聞いてクラブの奉仕活動への参考にして、より良い奉仕活動の実践をお願いいたします。 |
| 発表者：次年度国際・社会奉仕委員会　委員長　　庄田　佳保里（池田くれは）　（15時37分） |
| 【記録内容】国際奉仕とは？社会奉仕とは？  ・自己紹介及び本プログラム全体について説明。  ・基本理念、重点分野の目的と目標、クラブ委員長の役割、奉仕プロジェクトについて説明。  ・奉仕活動の活動報告ですが、広報を活用して公共イメージ向上して頂けたらと思います。  ・地区クラブは、各クラブが困ったときに相談できる委員会運営をおこないます。  ・マイロータリーへ登録すれば、活動情報が閲覧できますので是非活用お願いいたします。 |
| 発表者：次年度ロータリー財団補助金小委員会　委員長　　木本　辰也（交野）　（15時54分） |
| 【内容】地区補助金とグローバル補助金（RACの地区補助金活用事例も）  ・ロータリー財団と補助金（地区補助金・グローバル補助金、RAC補助金）の概要を説明。  ・資金の流れ、審査の流れ、受領資格の指針、補助金の種類を説明。  ・地区補助金について、申請手続き、申請のサイクル、承認後の制約事項、着金後の流れや注意事項、継続的または過度の支援の場合、申請の現状、修正依頼事項を説明。  ・グローバル補助金について、7重点分野、補助金の概要、DDF寄贈とWF、内容を説明。  ・RACの補助金申請について、配分・要件の変更を説明。  ・財団補助金申請ハンドブック2023-24年度を参照してお問い合わせをお願いします。 |
| 発表者：次年度国際・社会奉仕委員会　副委員長　　桑城　伸語（大阪梅田東）　（16時15分） |
| 【内容】能登半島地震の復旧・復興支援の状況～現状とクラブでの奉仕活動の事例報告～   1. 守口イブニングRC　福田　治夫　　資料をもとに説明（16時16分）   ・街頭募金活動及び地区臨時補助金を活用し、支援物資の援助について報告。   1. 大阪アーバンRC　尾崎　孝　　資料をもとに説明（16時22分）   ・地区臨時補助金を活用して不足物資の支援援助について報告。  ・当初はキッチンカーでの食の支援を計画していたが、現地より不足物資の要請があり計画を変更しました。   1. 大阪中央RC　大代　敬子　　動画をもとに説明（16時32分）   ・地区臨時補助金を活用して物資の支援と、食の支援について報告  ・食の支援では配達もおこないました。  ・現地の情報をいち早く聞き取れることができたので支援活動ができました。 |
| 発表者：国際・社会奉仕委員会　委員長　　徳上　洋之（大阪リバーサイド）　（15時37分） |
| 【内容】ウクライナ人道支援の状況～クラブでの奉仕活動の事例紹介～  ・2660地区の2023-24年度の活動を報告します。   1. 数回に渡りロータリー財団を通じてウクライナへ寄付を致しました。 2. ウクライナへの支援は2023年12月末で、受付は終了となりましたが、別の方法で可能です。 3. 大阪RCは、ポーランドへのワルシャワ旅行を支援しました。（動画） 4. 大阪城南RC、吹田RCは、元米山奨学生の講演会の参加費をウクライナ支援団体へ寄付しました。 5. 大阪ユニバーサルシティRCは、チャリティゴルフコンペを開催、ウクライナ大使館を通して「子ども支援」活動へ寄付しました。 6. 大阪平野RCは、大阪在住ウクライナ難民の方へ日本語習得の支援を行いました。 |
| 発表者：次年度国際・社会奉仕委員会　委員　　岩元　孝樹（大阪西北）　（16時48分） |
| 【内容】バーチャルを活用した奉仕活動のススメ　資料を基に説明  ・バーチャルの利点を説明。時間の誓約を受けない、会場が不必要、インターネット環境の方が閲覧可能、天候に無関係、世界各国より閲覧可能となります。  ・動画を基にバーチャルサイトを説明。URLよりバーチャル美術館に来場し、各絵画への投票やウクライナへの寄付も出来るようになっております。 |
| 発表者：パストガバナー　　片山　勉　　　（16時54分） |
| 【記録内容】講評  ・報告のあった奉仕活動に共通した事項として、情熱・熱意がある、パートナーと合同で現地の声を聞く、即行動をすることが挙げられました。  ・地区委員会がクラブを支援していくことが大事だと思いました。  ・一人一人がロータリーの広報になり、公共イメージを向上させることで、会員拡大につながると思います。 |